令和4年度

防除情報(病害虫情報 号外 第4号)

令和4年5月26日
神奈川県農業技術センター

ナシヒメシンクイの発生予測

次世代成虫の発生ピークを把握し、適期防除を心掛けましょう！

● フェロモントラップ調査におけるナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生ピークは、伊勢原市三ノ宮、大井町西大井でいずれも４月２半旬となっています。

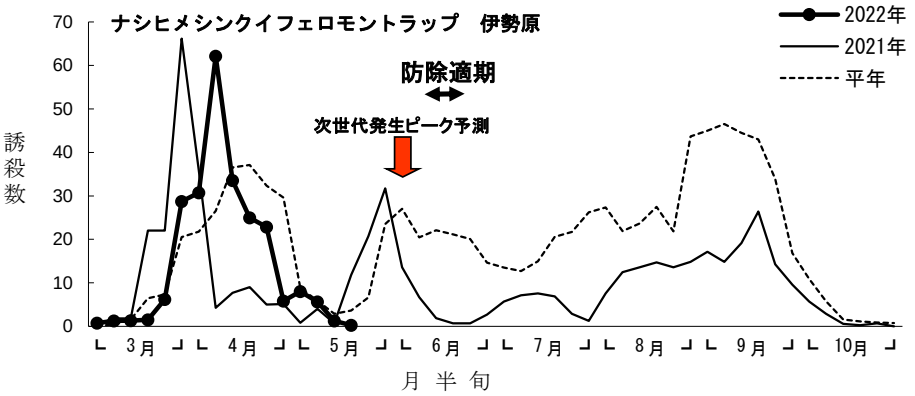
● また、越冬世代の誘殺数は伊勢原市、大井町でいずれも平年よりやや多くなっています。

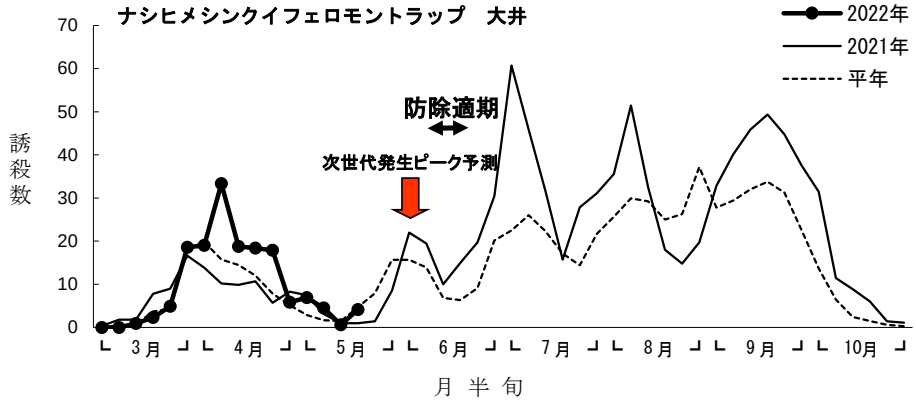
● 越冬世代の発生ピークを起点として、発育零点と有効積算温度*1から次世代（第１世代）成虫の発生ピークは、伊勢原市（アメダスデータ海老名から算出）、大井町（同小田原から算出）ではいずれも６月１半旬頃になると予測されます。

*1：発育零点(11.1℃)、有効積算温度(383.7日度)、発育上限温度(28.0℃)、発育停止温度(30.0℃)

● 薬剤散布適期までの日数は、第１世代成虫では**発生ピークの7～9日後**という報告がありますので、**防除適期は6月2半旬頃となります。**

● なお、成虫の発生ピークは今後の気象状況により変化しますので、ホームページに掲載しているフェロモントラップ調査結果を防除の参考にしてください。





病害虫防除部　TEL0463－58－0333
ホームページ
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/
○農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。